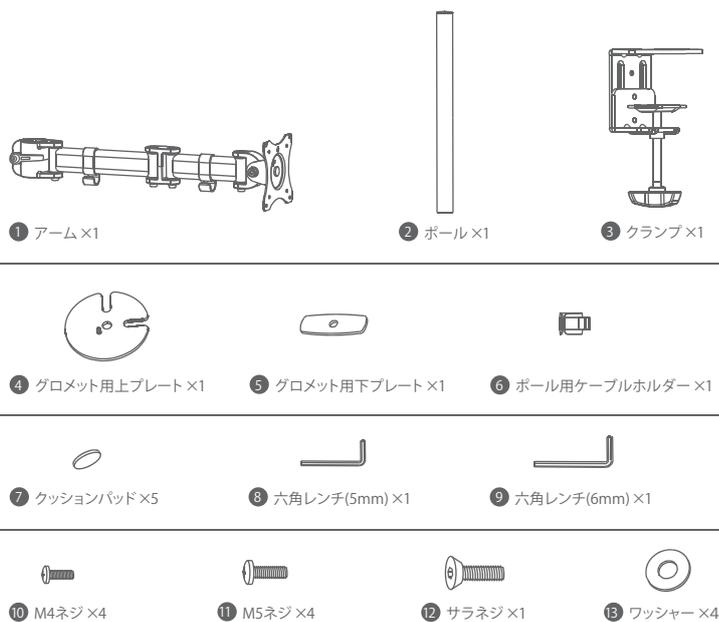


[使用する工具&ご用意いただくもの] プラスドライバー

セット内容

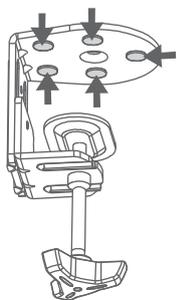


1 デスクへの設置方法

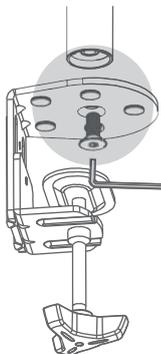
取付可能な天板の厚みは10~88mmです。

クランプ式

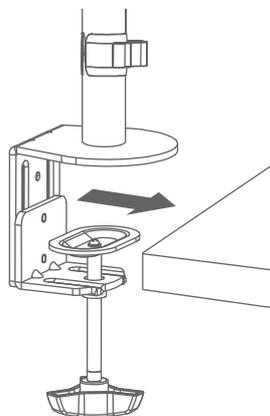
1 クランプにクッションパッドを貼り付けます。



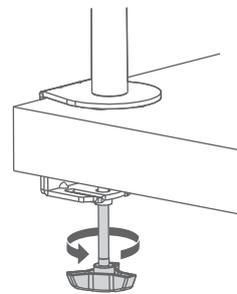
2 サラネジで、クランプとボールを固定します。



3 クランプを天板に差し込みます。

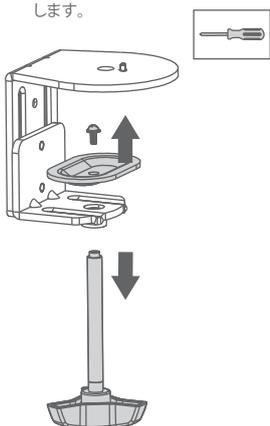


4 ハンドルを矢印方向に回して締め付けます。

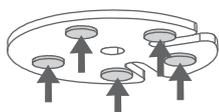


グロメット式

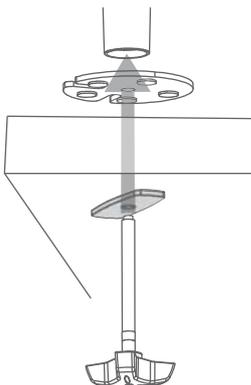
1 プラスドライバーでノブを取り外します。



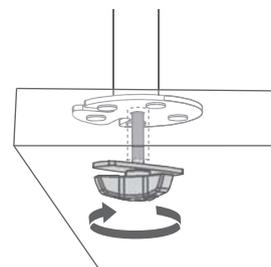
2 グロメット用上プレートの突起を上にした状態で、裏面にクッションパッドを貼り付けます。



3 ノブにグロメット用下プレートを通し、机の穴に下から差し込みます。

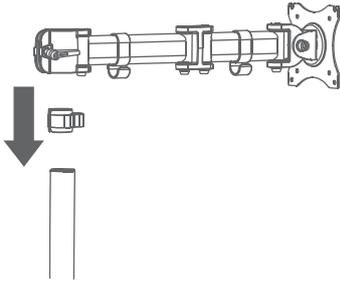


4 クッションパッドを貼った面が下にくるようにグロメット用上プレート、ボールを差し込み矢印方向に回して締め付けます。

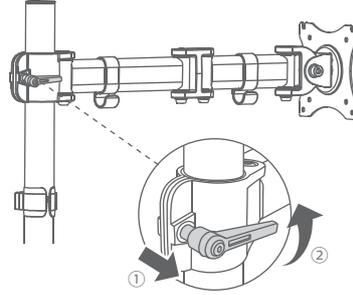


2 アームの取り付け方

1 ポール用ケーブルホルダーと、アームをポールに差し込みます。



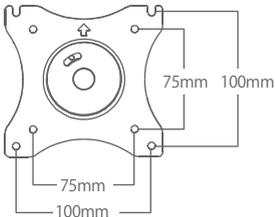
2 レバーを回してアームをしっかり締め付けます。



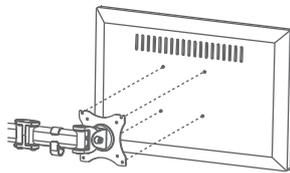
3 ディスプレイの取り付け方

取り付け可能なディスプレイの重量は8kgまでです。作業は必ず二人で行ってください。

※ディスプレイの取り付け穴ピッチが75×75mmの場合は内側を100×100mmの場合は外側の取り付け穴を使用してください。

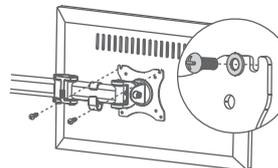


1 一人の作業者がディスプレイを持ち、アームの金具の穴とディスプレイ背面のネジ穴を合わせてください。



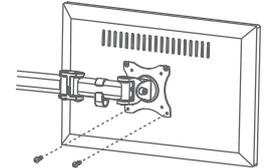
2 もう一人の作業者がネジ、ワッシャーを通し、プラスドライバーでしっかりと締め込んでください。

※ディスプレイに合うネジを使用してください。



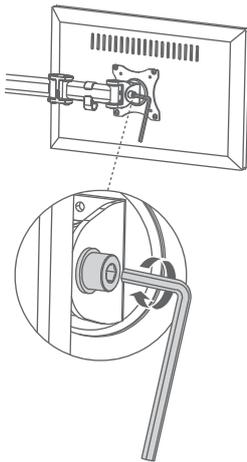
100×100mmの場合
上部2箇所をネジを3mm余らせて状態で止めます。

3 アームのディスプレイ取り付け部分に先程のネジを引っ掛けて、ネジをしっかりと締め込み、下側のネジも止めてください。



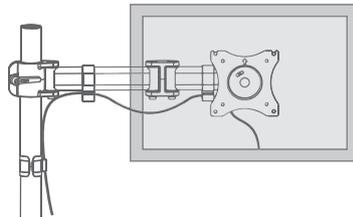
4 上下角度の調節方法

アーム側面のボルトを六角レンチ(6mm)で緩め調節してください。角度が確定したら、ボルトをしっかりと締めてください。

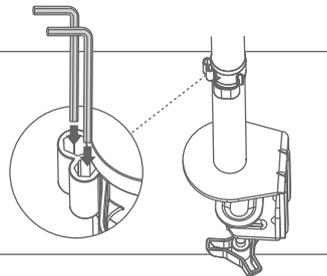


5 ケーブルをまとめる

ディスプレイから出るケーブルをポール用ケーブルホルダーに掛けまとめてください。



六角レンチは、ケーブルホルダーに掛けて保管できます。



! 使用上のご注意

●定期的にネジの締め直しを行ってください。緩んだまま使用されますと、転倒・落下・破損などの原因となり非常に危険です。

●本製品は、対応機器を適切な角度に置き、視聴するための製品です。他の用途ではご使用にならないでください。●ディスプレイの落下や故障、設置部の破損、怪我の恐れがありますので、以下のことを必ず守りご使用ください。・本製品を不安定な場所や振動の激しい場所には設置しないでください。・薄い机や中が空洞になっている机、ガラスなどの割れやすい机には設置しないでください。・耐荷重を超えるディスプレイは取り付けしないでください。・ご使用前に本製品にディスプレイがしっかりと装着されていることをご確認ください。●アーム関節部のネジなどを分解しないでください。●ご使用の際は、アームの各関節部にあるネジをしっかりと閉めた状態でご使用ください。●アーム位置の調整は静かに行ってください。また、必ず両手で操作してください。●可動範囲に人が入る場合は、十分ご注意ください。●可動範囲に物を置かないでください。●本製品にディスプレイを取り付けたまま持ち運ばないでください。●本製品およびディスプレイの変形や劣化の原因になりますので、高温・多湿・直射日光を避けてご使用ください。●ディスプレイの破損や故障、データの消失、消滅などについては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。●亀裂などの破損、変形、劣化を発見した場合はただちに使用を中止してください。●アルコール類、またはその他の薬品を本製品に付着させないでください。●硬い布で本製品を拭かないでください。●乳幼児の手がとどかないところでご使用、保管してください。

組立時のご注意

●可動部分に手や足、衣類などを挟まないようにしてください。●ディスプレイを取り付ける際は、必ず二人以上で行ってください。●組立時は机などを傷付けないようにご注意ください。●組み立て手順に従い、各部品をしっかりと固定してください。締め付け・かみ合わせが緩いと落下などの原因となります。